

IMS Final Release

# Open Badges 2.0適合性および認定ガイド

## IMS最終リリース

発行日	2018年4月12日
ステータス	ステータス

### IPR（当事者系レビュー）および配布に関する通知

この文書の受信者は、コメント、関連する特許請求の通知、またはこの文書に記載されている仕様の実装によって侵害される可能性のあるその他の知的財産権の通知を提出し、サポート資料を提供するように要求されています。

IMSは、このドキュメントに記載されている技術の実装または使用に関連すると主張される可能性のある知的財産またはその他の権利の有効性または範囲、またはそのような権利に基づくライセンスが利用可能かどうかに関していかなる立場もとりません； また、そのような権利を特定する努力を行ったことを表明するものでもありません。IMS仕様の権利に関するIMSの手順に関する情報は、IMS知的財産権のWebページ（[http://www.imsglobal.org/ipr/imsipr\\_policyFinal.pdf](http://www.imsglobal.org/ipr/imsipr_policyFinal.pdf)）にあります。

以下の参加組織は、この仕様に対して明示的なライセンス契約を締結しています：

組織名	選択された日付	必要な請求	タイプ
クレジットリー	2019年3月14日	なし	RF RAND（必須およびオプションの要素）
Mozilla（モジラ）ファウンデーション	2019年3月14日	なし	RF RAND（必須およびオプションの要素）
デジタルミー	2019年3月11日	なし	RF RAND（必須およびオプションの要素）
D2L コーポレーション	2019年3月10日	なし	RF RAND（必須およびオプションの要素）
クレジットリー	2018年3月18日	なし	RF RAND（必須要素）
ピアソン	2017年11月21日	なし	RF RAND（必須要素）

※RF（Royalty Free）... ロイヤリティフリー。

※RAND（Reasonable and Non-Discriminatory）... 妥当かつ非差別的に実施。

提案の要求を作成する際は必要に応じて、この文書からの抜粋を使用するすべての関係者に許可が与えられます。

上記で付与された制限付き許可は永続的であり、IMSまたはその後継者または譲受人によって取り消されることはありません。

製品またはサービスを開発するためのこの仕様の使用は、**仕様ライセンス**によって管理されます。

この仕様はいかなる保証もなく提供されており、特に、非侵害の保証は明示的に否認されます。この仕様の使用は、実装者の独自のリスクにおいて全面的に行われるものとし、そのコンソーシアム、そのメンバーまたは提出者のいずれも、この仕様の使用に起因する直接または第三者のいかなる損害についても、いかなる責任も負わないものとします。

公募、コメント、質問は、<https://www.imsglobal.org/forums/ims-glc-public-forums-and-resources/open-badges-community-forum>に投稿できます。

IMSロゴは、米国およびその他の国におけるIMSグローバルラーニングコンソーシアムの商標です。

詳細情報：<https://www.imsglobal.org/trademarks>

ドキュメント名：オープンバッジ 2.0適合性および認定ガイド

改訂：2018年4月12日

---

## 内容

- **1. はじめに**
- **2. 適合プロセス**
- **3. オープンバッジ2.0発行者サービスの適合性**
- **4. オープンバッジ 2.0 表示者サービスの適合性**
- **5. オープンバッジ2.0ホストサービスの適合性**
- **6. 貢献者のリスト**

### 1. はじめに

オープンバッジのIMS認定の目標は、デジタルバッジを生成および発行するバッジシステムと、バッジをホストおよび表示するバッジシステムの相互運用可能な実装を保証することです。

オープンバッジ 2.0のIMS認定では、仕様で厳密に必要とされる機能と機能を超えた能力が要求されます。この仕様は、多くの目的に使用できるように、意図的に非常に柔軟なままにしています。この認定を取得することは、有効なオープンバッジを作成するための最小要件を単に満たすことよりも難しいと予想されます。

次のサービスの1つ以上で認証を取得できます：

- オープンバッジ発行者
- オープンバッジ表示者
- オープンバッジホスト

サービスタイプおよび関連する認定テストは、以下のセクション3、4、および5で定義されています。

### 2. 適合プロセス

オープンバッジ 2.0のコンフォーマンステストサービス実装のプロセスには、以下が含まれます：

- **オープンバッジ 2.0用のIMS 認定テストスイート** に移動し、指示に従って、適合証明のアプリケーションを作成および送信します。

認定に合格するには、次の手順を実行する必要があります：

- **IMS デジタルクレデンシャルとバッジアライアンスメンバー、IMSアフィリエイトメンバー、またはIMS コントリビューティングメンバーである必要があります。**
- **ホストされている認定スイートを使用して、申請するサービスタイプに関連するすべてのテストに合格する必要があります。** サービスタイプと関連するテストの定義については、以下のセクション3、4、および5を参照してください。
- **テストは、IMSメンバー組織の指定された代表者が完了する必要があります、提出された情報に結果の不実表示または操作がないことに同意する必要があります。**

IMSが送信した情報を確認し、アプリケーションが承認されたことを通知した後、オープンバッジに認証を要求し、WebサイトとソフトウェアにIMS認証ロゴを表示できます。 **IMSグローバル適合チャート** には、適合の詳細がリストされます。

### 3. オープンバッジ2.0発行者サービスの適合性

オープンバッジ 発行者 は、 **BadgeClasses** の作成と、その後のオープンバッジ仕様に準拠した受信者へのアサーションの配信を可能にするアプリケーションです。 オープンバッジ 2.0以降、候補プラットフォームは有効なベークバッジを発行し、受信者がバッジを取得する方法を実証する必要があります。

テスト

1. 有効なベークド2.0バッジを作成し、受信者 **conformance@imglobal.org** に発行します。
2. 受信者がバッジを取得するための候補プラットフォームの方法をビデオで実演します。

### 4. オープンバッジ2.0 表示者サービスの適合性

オープンバッジ 表示者 は、確認済みのバッジを視聴者に表示するアプリケーションです。 オープンバッジ2.0から、候補プラットフォームはバッジメタデータの最小セットを表示し、視聴者が開始するバッジの検証をサポートする必要があります。

テスト

1. このプラットフォームでは、バッジの視聴者が**3つの異なるバッジ**で次のデータを見ることができることを個別のビデオで示します。（IMSはこれらのバッジを提供していないことに注意してください。自分でバッジを提供する必要があります。）

バッジ1

1. **BadgeClass**イメージ、名前、説明、発行者名、発行日
2. 期限切れでも取り消しでもない

バッジ2

1. **BadgeClass**イメージ、名前、説明、発行者名、発行日

2. 期限切れステータス（日付の表示はオプション）
3. 取り消されていない

### バッジ3

1. BadgeClassイメージ、名前、説明、発行者名、発行日
2. 期限切れではありません
3. 取り消されたステータス（理由の表示はオプション）

### 2.

プラットフォームでバッジの視聴者が次のいずれかまたは両方を実行できることをビデオで示します：

1. バッジの検証をトリガーし、バッジアサーションが期限切れではなく、取り消されていないことを検証する結果を取得します。
2. 最新の検証の結果とタイムスタンプを含む既存の検証情報を使用します。

## 5. オープンバッジ2.0ホストサービスの適合性

オープンバッジホストは、受信者のアサーションを集約して公開ホストできるアプリケーションです。また、ユーザーの要求に応じてバッジのエクスポートをサポートしています。オープンバッジ 2.0以降では、候補プラットフォームは、オープンバッジのすべての形式をインポートできるだけでなく、バッジのエクスポート時にバッジメタデータが失われないことを証明する必要があります。

### テスト

1. 下記のアーティファクトを使用して、提供された各アーティファクト（ベーク処理されたPNGバッジ、ベーク処理されたSVGバッジ、およびアサーションURL）をインポートする機能をビデオで示します。申請者は、候補プラットフォームで偽のアカウントを作成する必要があることに注意してください。
2. 以下に示すバッジ形式のいずれかを使用して、バッジをプラットフォームにインポートし、プラットフォームからエクスポートし、オリジナルとの差分比較のためにバッジをIMSに送信する完全なプロセスをビデオで示します。

注-これらのバッジの受信者IDは `conformance@imglobal.org` です。

必要なバッジ形式	このリソースはデモンストレーションに使用します
ベークドバッジ (PNG) 形式	<a href="https://openbadgesvalidator.imglobal.org/SampleResources/OB20-assertion1-conformance.png">https://openbadgesvalidator.imglobal.org/SampleResources/OB20-assertion1-conformance.png</a>
ベークドバッジ (SVG) 形式	<a href="https://openbadgesvalidator.imglobal.org/SampleResources/OB20-assertion-conformance-servicelearning.svg">https://openbadgesvalidator.imglobal.org/SampleResources/OB20-assertion-conformance-servicelearning.svg</a>
アサーションURL	<a href="https://badges.imglobal.org/public/assertions/1geQXkWnQnW0BkWcO3jSPA.json?v=2_0">https://badges.imglobal.org/public/assertions/1geQXkWnQnW0BkWcO3jSPA.json?v=2_0</a>

## 6. 貢献者のリスト

次の個人がこのドキュメントの開発に貢献しました：

- ジェフ・ボーラー、IMSグローバル
- テイモシー・F・クック、LRNG
- スティーブ・ガンス、ワシントン州コミュニティカレッジ&テクニカルカレッジ
- マーカス・ギリングス、IMS グローバル
- ヴィクトル・ハーグ、D2L
- アレックス・フリパック、クレドリー
- ネイト・オッター、コンセントリックスカイ

- ジャスティン・ピッチャー、チョーク&ワイヤー
- アレックス・レイス、D2L
- ジャリン・シュミット、ピアソンアクレーム

IMS グローバルラーニングコンソーシアム（「IMS グローバル」）は、科学的、実験的、および学術的なコラボレーションのみを目的として、このオープンバッジ 2.0仕様（「仕様」）に含まれる情報を公開しています。

IMS グローバルは、仕様の正確性または完全性に関していかなる保証も表明も行いません。

この資料は、「現状有姿」および「提供可能な限度」で提供されます。

仕様は常に予告なしに変更および修正される場合があります。

仕様に関する有用性、正確性、完全性を評価することは、お客様に関わるお客様の責任です。

IMS グローバルは、ご意見やご提案をお待ちしています。

<http://www.imsglobal.org> のWebサイトからIMS グローバルに連絡してください。

ドキュメント名：オープンバッジ 2.0適合性および認定ガイドを参照してください

Copyright © 2018 IMS Global Learning Consortium1、IMS グローバル [ントリビューターライセンス契約](#) と [仕様ライセンス](#) の下で公開されています。この仕様は、誰でも自由に使用または実装できます。